

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	隅角組織の形態学的検討による緑内障の原因究明
研究責任者	濱中輝彦
研究機関名	日本赤十字社医療センター眼科
研究目的と意義	サルコイドーシスは全身に肉芽腫が出現して様々な障害をきたす疾患です。眼科的には緑内障、網膜裂孔による網膜剥離、そして黄斑浮腫を起こして失明に至る重篤な合併症を引き起こします。そこで我々はサルコイドーシス患者様の眼底・隅角所見並びに以前に施行された蛍光眼底造影検査、蛍光隅角検査での所見及びサルコイドーシスによる続発緑内障の線維柱帯切除術で得られた線維柱帯・シュレム管を含む隅角組織、そしてサルコイドーシスで亡くなられた患者様の眼球病変を病理学的検査を行い、眼科的臨床所見との比較検討を行いました。
研究方法	今回は1990年3月1日から2011年10月までに施行された蛍光眼底検査・蛍光隅角検査、1998年10月から2020年7月までの緑内障手術で得られた隅角組織、1989年1月から2002年5月までの解剖症例の眼球病理、病理学的に研究します。<u>試料(検体)情報の利用停止についてご自身の資料情報をこの研究に利用してほしくない場合にはご本人または代理人のかたからお申し頂ければ利用を停止することが出来ます。</u>なお利用の停止をしたことにより何ら患者様の不利益は被りません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 眼科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者： 濱中輝彦(毎週月曜日) TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604